

ツキノワグマ対策研修会 を開催します！

— ツキノワグマの生態と春に向けた対策 —

昨今のツキノワグマの出没及び人的被害の状況下から、ツキノワグマを対象とした被害対策等に係る研修会を開催します。

今年はツキノワグマの目撃件数が過去最多となっており、人身被害も発生しましたが、冬眠明けのツキノワグマが活動再開をする春に向けて、農林水産業従事者や捕獲従事者等の安全確保ならびにツキノワグマの生態等について学んでいただく機会と考えております。

報道機関の皆様におかれましてはぜひ取材して下さるようお願いいたします。

- 1 日 時** 令和8年3月17日（火）午前10時から正午まで
- 2 場 所** 東北自治総合研修センター（宮城県富谷市成田2丁目22-1）
- 3 内 容**
 - （1）午前10時～午前11時5分
ツキノワグマの生態と春に向けた対策 講師 小野寺（鵜野）レイナ氏
 - （2）午前11時15分～午前11時45分
効果的な生息環境管理の方法と進め方 講師 鈴木 淳氏※詳細は別紙チラシをご覧ください。

4 取材申込

御取材いただける場合は、3月16日（月）の午後5時までに当課に電話・メール等で御連絡ください。

ツキノワグマ対策研修会

そのカキの木は伐採して良かったのか？

昨年は、過去に例を見ないツキノワグマの大量出没により、これまで出没しなかった地域への出没や過去最多の人身被害が発生しました。緊急的に実施した対策は効果があったのか？これから何をすれば良いのか？一冬を越して新たなシーズンを迎える前に、改めて専門家と一緒に考えます。



令和8年3月17日（火）

会場 東北自治総合研修センター 講堂(富谷市成田2丁目22-1)



講演時間 10:05 ~ 11:05 (受付 9:30 ~)

ツキノワグマの生態と春に向けた対策

- 昨年の振り返りと春に向けたクマ対策
 - ・春の出没傾向や行動時間帯などの行動パターン、注意点
 - ・春グマの捕獲は有効なのか？進めるべきなのか？
- 山菜シーズンを前に覚えておきたいクマ撃退スプレーやクマ鈴の使い方
- 県内外の事例紹介

小野寺（鶺野）レイナ氏

慶應義塾先端生命科学研究所 所員
農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー

時間 11:15 ~ 11:45

効果的な生息環境管理の方法と進め方

- 生息状況や人間社会の変化による今と昔の生息環境管理の違い
- ゾーニングによる戦略的な生息環境管理
- 県内外の事例紹介

鈴木 淳氏

かさなりデザイン合同会社 代表社員
農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー
鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

定員 180 名

(先着順)

- 農林水産事業者、捕獲従事者、行政職員、どなたでも参加できます。
- お申込み方法 お住まいの市町村担当窓口までお問合せください。
- ご注意 本会議は、オンライン開催（Web配信）は行いません。